

社会資本総合整備計画

# 小田原市における防災・安全の下水道事業計画（防災・安全） 事後評価

おだわらし  
小田原市

平成28年3月22日

計画の名称	1 小田原市における防災・安全の下水道事業計画																									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	小田原市																					
計画の目標	重要な管路の耐震性能を確保する。																									
計画の成果目標（定量的指標）	①重要な管路の地震対策実施率を0.4%（H22）から3.0%（H26）に増加させる。 ②長寿命化計画に位置つけた管きょの改築率を100%（H26）にする。																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>①重要な管路の地震対策実施率 重要な管路のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）</td> <td>0.4%</td> <td>1.1%</td> <td>3.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②長寿命化計画に位置つけた管きょ施設の改築率 改築実施延長（km）／改築計画延長（km）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	①重要な管路の地震対策実施率 重要な管路のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）	0.4%	1.1%	3.0%		②長寿命化計画に位置つけた管きょ施設の改築率 改築実施延長（km）／改築計画延長（km）	-	-	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																							
①重要な管路の地震対策実施率 重要な管路のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）	0.4%	1.1%	3.0%																							
②長寿命化計画に位置つけた管きょ施設の改築率 改築実施延長（km）／改築計画延長（km）	-	-	100.0%																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	319	A	319	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%																

事後評価（最終評価）

○事後評価（最終評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（最終評価）の実施体制	事後評価（最終評価）の実施時期
「小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき、下水道整備課及び企画政策課にて実施。	平成27年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載予定

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 下水道事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
流域下水道酒匂川左岸処理区															
A-1-1	下水道	一般	小田原市	直接	-	西部第一号汚水幹線及び支線耐震化	φ250 L=1.094km	小田原市						85.1	下水道総合地震対策
A-1-2	下水道	一般	小田原市	直接	-	西部第七号汚水幹線及び支線耐震化	φ200～300 L=0.873km	小田原市						70.0	下水道総合地震対策
A-1-3	下水道	一般	小田原市	直接	-	西部第八号汚水幹線及び支線耐震化	φ250～350 L=0.230km	小田原市						21.4	下水道総合地震対策
A-1-4	下水道	一般	小田原市	直接	-	西部第十号汚水幹線及び支線耐震化	φ250 L=0.265km	小田原市						20.0	下水道総合地震対策
A-1-5	下水道	一般	小田原市	直接	-	総合地震対策計画	計画策定	小田原市						6.8	下水道総合地震対策
A-1-9	下水道	一般	小田原市	直接	-	総合地震対策調査・設計	φ250～350	小田原市						17.1	下水道総合地震対策
A-1-12	下水道	一般	小田原市	直接	-	長寿命化計画（第15処理分区）	管路施設長寿命化対策及び改築 φ250 L=1.055km	小田原市						78.0	長寿命化支援制度
A-1-13	下水道	一般	小田原市	直接	-	長寿命化計画（ポンプ場施設等）	ポンプ場施設長寿命化 対策及び改築	小田原市						8.1	長寿命化支援制度
A-1-14	下水道	一般	小田原市	直接	-	長寿命化計画（ポンプ場施設等）	ポンプ場施設等実施設計	小田原市						12.9	長寿命化支援制度
							延長計 L=3.517 km	合計					319.4		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・重要な管路の耐震化事業を促進したことにより、地震対策実施率が1.9%増加し、災害に強い下水道管渠の構築が図られた。 ・下水道長寿命化計画に位置つけた工事を推進したことにより、改築率が75.6%増加し、施設の再構築が図られた。		
--------------------------------	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①重要な管路の地震対策実施率	最終目標値	3.0%	目標値と実績値に差が出た要因	管路内の支障物（モルタル・突出物など）のため、施工方法の変更（更生から布設替など）を行うなど、事業費の増加により遅れが生じた。
		最終実績値	2.3%		
	指標②長寿命化計画に位置つけた管きょ施設の改築率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	75.6%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)
--

3. 特記事項（今後の方針等）

・大規模地震発生時における下水道機能の確保を図り、安心・安全な市民生活を支えるため、下水道総合地震対策計画に基づき、今後も事業を継続する。 ・今後増加していく老朽化施設の改築・更新について、施設の適切な管理、予防保全の維持管理を図るため、下水道長寿命化計画に基づき、今後も事業を継続する。
---

(参考図面) 小田原市における防災・安全の下水道事業計画

